



東口 隆弘 議員  
(政清会)



10月29日に開催された小生議会で、児童から「学校のトイレをもっと快適で衛生的にして」という要望が寄せられたと報じられた。

本町では、築後30数年を経過した校舎の長寿命化が大きな課題である。多くの校舎は災害時の避難所にも指定されている視点から考えを伺う。

(1)現在策定中とされた「幕別町小中学校整備改修計画」の経過と策定状況について。

**教育長(1)**平成28年3月開催の町議定会例会の教育行政執行方針の中で、各学校施設の改修計画について述べ、これまでに現況調査を実施し、策定作業を進めてきた。

しかしながら、本年度、町において平成25年11月に国が策定した「インフラ長寿命化基本計画」に基づき、地域のインフラ全体における整備の基本的な方針を定める「公共施設等総合管理計画」を策定することとしたところである。

## 問 小中学校の校舎等の大規模改修の考えは 答 国の補助事業等を活用しながら計画的に進める

教育委員会としては、小中学校整備改修計画については、今後、学校の整備改修事業を実施する際に国の財政支援が受けられるため、町の全体計画である「公共施設等総合管理計画」の内容を踏まえ、文部科学省から示されている平成32年度までに、学校の「個別施設計画」として、策定していく。



昭和52年築の幕別小学校

**再質問**築後40年に届こうとしている学校がある中で、計画的な改

修が必要と思われるがどうか。

**答**優良な財源をいかに確保し、事業を安定的に進めるかというのも大事であり、公共施設管理計画の中の総体の枠の中で、個別の学校における計画を策定していく。

| 問                               | 答                         |
|---------------------------------|---------------------------|
| 学校施設など公共施設の煙突用断熱材のアスベスト使用状況と対応は | 建材が剥離している3校は新年度に改修工事を実施する |



**問** 本年10月に札幌市内の給食調理室の煙突からアスベストの落下物が見つかった。本町でもアスベストが使用されていると報道されているが、適切な対応が急務と考え伺う。

(1)平成26年と本年8月実施の文科省の調査における町の報告内容は、  
(2)公共施設のアスベスト使用状況は、  
(3)アスベスト使用が確認された場合の飛散防止措置等の改修計画は。

**教育長(1)**煙突の劣化状況とアス

ベスト含有状況等の調査について、平成26年度の調査では実施していないと報告、本年8月の調査では、本年度実施中であつたことから調査中として報告した。

**町長(2)**学校施設で8施設、学校施設以外で2施設、計10施設で使用されており、そのうち、札内南小学校、札内東中学校と糠内中学校の計3校で、建材が剥離するなどの劣化が認められたとの報告があつた。

(3)3校については、直ちに人体に影響を及ぼす恐れがない数値であることを確認したが、子供たちが長い時間を過ごす学校であることから、新年度に改修工事を実施していきたい。

また、改修工事が完了するまでの間、定期的に気中濃度測定を実施するなど、児童生徒の安全確保に努めていく。

**再質問**アスベストの劣化が想定されるのであれば、速やかに手を打ち、住民の不安感を払しょくするべきと考えるが。

**答**建材の剥離が認められていない7施設については、注意深く劣化状況を確認して、劣化が進んだと認められる場合は、3校と同様に早急に改修工事に着手していきたい。